

Bluetooth FM Transmitter

iina-style Bluetooth FM トランスミッター



仕様

作動電圧域：12-24V
 USB 出力：5V/4.2A
 作動温度：0-50℃
 S/N 比率：>60dB
 ディストーション：<0.1%
 再生周波数：20Hz-15KHz
 Bluetooth Ver.：2.1
 対応プロファイル：A2DP、SCMS-T
 対応転送コーデック：SBC
 マイク感度距離：約 0.5-2m
 FM 周波数：76.1-89.9Mhz
 付属品：本体、取扱説明書、外箱

・USB 電源出 ×2 合計最大出力 5V/4.2A
 (5V/ 各ポート最大 2.1A)

名称と機能

- 音楽再生時、音量ダイヤルは時計回りで音量+、反時計回りで音量-
- 音楽再生時、③又は④ボタンを押すと曲の前後が可能
 - ②の通話ボタンを3秒以上押して Bluetooth をオン/オフできます。
- ハンズフリー通話
 - 電話をかける

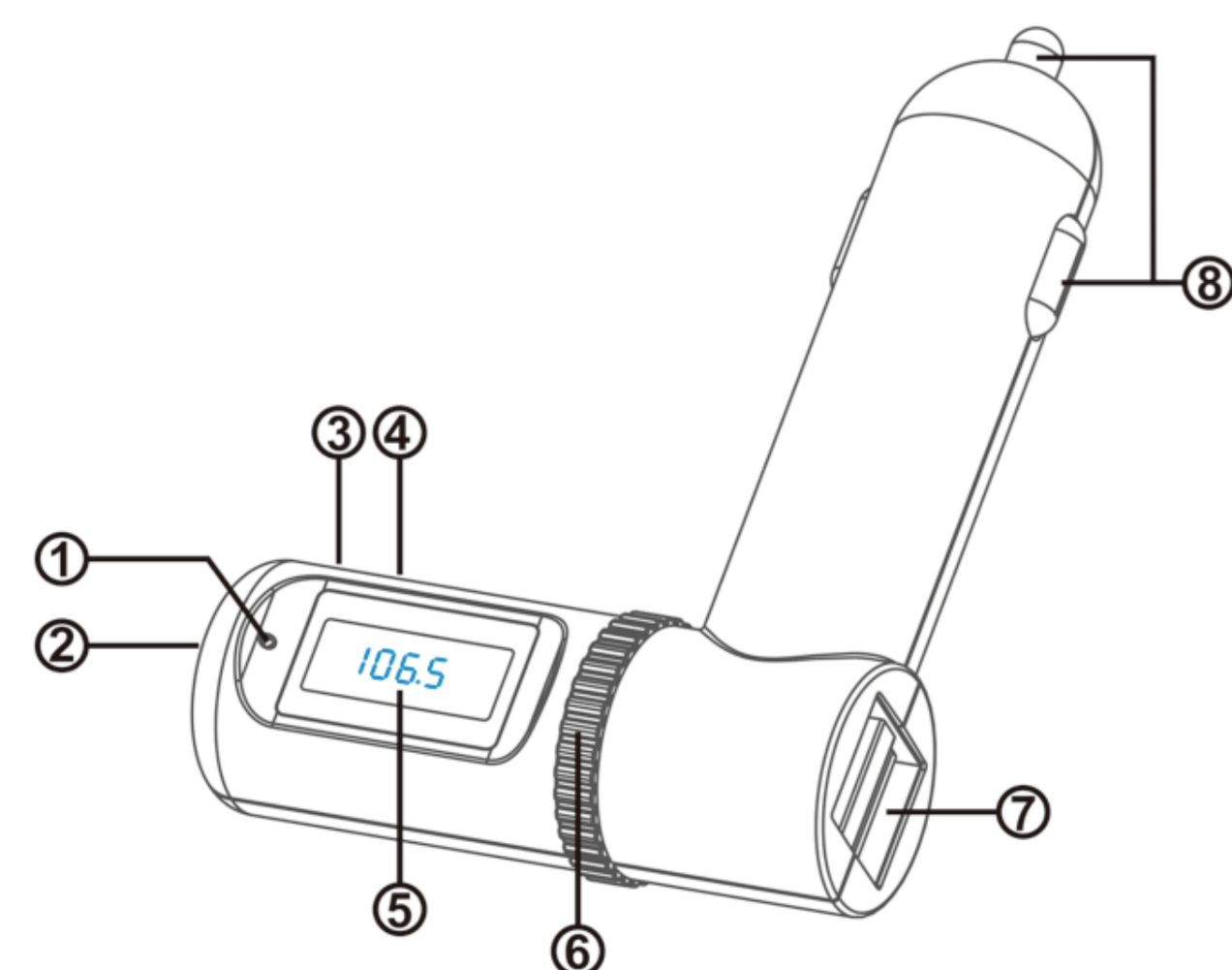
お手持ちのスマホと本製品の接続完了後、電話をおかけください。
通話音声はカーステレオから聞こえるようになります。
 - 電話に出る

お手持ちの携帯電話と本製品の接続完了後、通話受信音が鳴りましたら
②の通話ボタンを押すと通話できます。
通話中に次の③FM チャンネル/④ 前の FM チャンネルを同時長押しで、
ハンズフリーと携帯電話での通話の切り替えができます。
もう一度押して通話を終了できます。
 - 通話拒否

②の通話ボタンを長押しで通話拒否できます。
 - リダイヤル

②の通話ボタンを素早く二度押しで一つ前の番号にリダイヤルできます。

各部名称、機能



- ①: マイク
- ②: 再生 / 一時停止 / 通話 / 通話終了 / Bluetooth オン/オフ (長押し)
- ③: 次の FM チャンネル又は次の曲へ
- ④: 前の FM チャンネル又は前の曲へ
- ⑤: 液晶ディスプレイ
- ⑥: 音量 +/-
- ⑦: 電源ランプ / USB 電源出力 (5V/2.1A)
- ⑧: 接続ソケット (12V-24V)

操作方法

- 本製品をシガーソケットに差し込むと、自動で電源が入ります。
- FM 周波数の設定【車側の設定】

まず車側で FM モードにし、76.1-89.9MHz の間でお好きな周波数に設定します。
※ラジオ放送など、何も受信できない周波数をお選び下さい。
- FM 周波数の設定【トランスミッター側の設定】
 - 次の FM チャンネル又は④ 前の FM チャンネル を 2-3 秒長押しして下さい。
液晶ディスプレイ上の FM 周波数が点滅し、③又は④ボタンの 1 回押しで周波数を選択できますので、車側と同じ周波数でご設定下さい。
※選択できない場合は、③④ボタンを同時に長押ししてお試し下さい。
それでもできない場合は一度取り外し、もう 1 度お直し下さい。
- 機器の設定 (iPhone や Android などのスマートフォンやタブレット等)

車と本製品の設定完了後、使用機器と本製品を Bluetooth にて接続します。
本製品側での設定は不要ですので右記手順を参考に機器の設定を行って下さい。
※右記例は iPhone ですが、基本的に同様の流れで設定を行います。
詳しくはご使用機器のメーカーにお問い合わせ下さい。

ノイズを少なくするコツ

- FM トランスミッターの性質上、カーステレオ (車) 側にノイズが入る場合が多く、その状況でカーステレオの音量を上げると、一緒にノイズの音量も上がってしまいます。
そのため、音量を上げる際はできるだけ音楽再生端末 (スマホやタブレット等) の音量を上げ、カーステレオの音量はできるだけ上げないようにする事を推奨します。
- 設定の周波数が、ラジオ放送局、あるいは周囲の車などの周波数と同じあるいは数字が近い場合、電波干渉を起こしノイズが入る可能性があります。
よく走行中の地域で放送中の FM ラジオ番組の周波数からはできるだけ離して周波数を変更しお直し下さい。

また日本での FM 周波数は 76-90Mhz で、海外では 88-108Mhz を使用しています。
 この為、日本仕様に合わせていない他社の中国製の商品などは本製品のように 76.1-87.9Mhz に合わせる事ができない為この数字の中で、お住まいの都道府県で放送されているラジオ番組の周波数とできるだけ離れた数字で設定して頂く事を推奨致します。



トラブルシューティング

- 反応しない、液晶画面に何も表示されない
→接続ソケットがしっかり入っているか、シガーソケットにサビまたは汚れがないか確認後、再接続して下さい。
- 音が聞こえない。
→音量が 0 になっていないか、音楽が一時停止になっていないか FM 周波数が正しく設定されているか確認下さい。
- ④桁のパスキーを求められた→「0000」と入力して下さい。

Bluetooth 接続方法

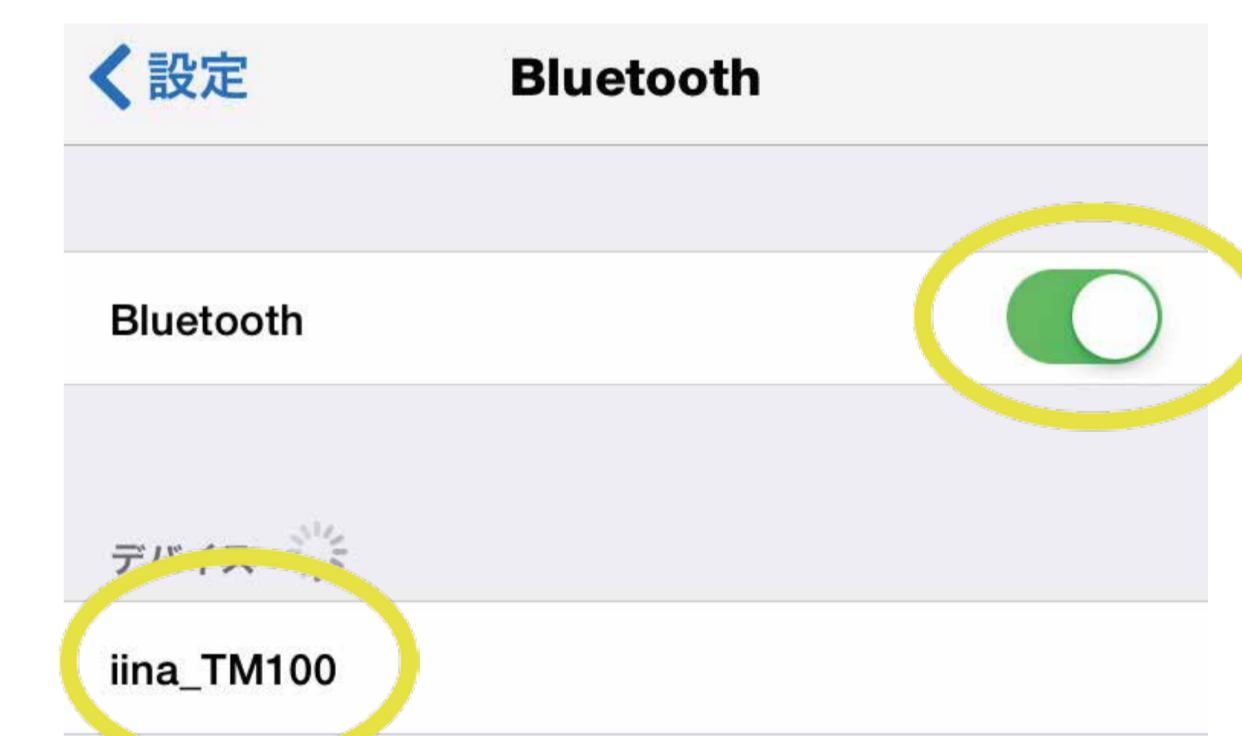
① 「設定」を押す



② 「Bluetooth」を押す



③ 「Bluetooth」をオンにし「iina_TM100」を選択



※名称が「Headset」と表示される場合があります。

④ 「接続済み」になれば OK！音楽をお楽しみ下さい。



FMラジオの電波干渉、ノイズに関して

FMトランスミッターはその性質上、電波干渉が発生する場合があります。電波干渉の原因の多くは、同じ周波数、あるいは近い周波数を使用しているラジオ番組がある場合や、自分の近くにその周波数を使用している人がいる場合等に起こります。電波干渉が発生した場合、チャンネル数を変更してお試し下さい。

また下記のような事が原因で、ノイズが入る可能性があります。心当たりがある場合、車の点検を行って下さい。

- ・車のバッテリーが低下している場合
- ・FM受信機が不具合を起こしている場合
- ・シガーソケットの汚れ、劣化がある場合
- ・その他の機器を併用している場合(増設ソケット、分配器等)

Bluetoothの電波干渉に関して

本製品などのBluetooth機器は、性質上、同一周波数帯(2.4GHz)を近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

また建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に金属やコンクリート、人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能になる場合があります。

干渉の要因となり得るもの

- ・無線機や放送局
- ・2.4 GHz 帯域を利用するコードレス電話機:
- ・2.4 GHz帯域で動作するIEEE802.11g/bの無線LAN機器など
- ・2.4 GHz帯域で動作するワイヤレス機器(電子レンジ、カメラ、ビデオ送信機、ベビーモニター、ヘッドホン、ヘッドセット、スピーカー、キーボード、マウス、近隣で使われているワイヤレス機器など)。
- ・その他、スマホケースや、ポケット、カバン等

対処方法

ご使用環境をご確認の上、コンピュータに接続されている、あるいはエリア内で2.4 GHz帯域で動作している有効なBluetooth、ワイヤレスデバイスの数を最小にしてください。

・カバーやケースを取り外す
接続されている機器に、保護ケース等を装着している場合は、そのケースによってBluetoothの電波が弱くなり、通信が途切れてしまうことがあります。装着しているケースを取り外して、改善があるかご確認ください。
※厚みのあるケースや金属の素材の場合、特にBluetoothの電波に影響を与える場合がございます。

・収納先から取り出す
接続している機器を入れる場所によっては、通信が途切れてしまうことがあります。ポケットの中や、カバンの中から取り出して、改善があるかご確認ください。

・ペアリングをし直す
接続機器から一旦登録情報を削除し、登録し直すことで改善見られる場合があります。

SCMS-Tで著作権保護された音声について

本製品はSCMS-Tに対応しておりますが、ワンセグ等、SCMS-Tで著作権保護された音声データを受信して聴くためには、トランスミッターだけでなく、お使いの端末(スマホ等)もSCMS-Tに対応する必要があります。お使いの端末がSCMS-Tに対応しているかどうかは、端末メーカーにお問い合わせ下さいませ。

注意事項

※安全にご使用頂く為に必ずご確認ください。

- 本製品の使用前に必ず破損のチェックをし、付属のケーブル以外は使用しないで下さい。
- 本製品の穴を塞いだり、通気口やポートに物を差し込まないで下さい。
- 本製品を火気やストーブなどの熱器具に近づけないで下さい。
- 本製品を分解修理加工・改造はおやめ下さい。
- 高温多湿となる場所、ホコリや油煙などの多い場所で使用・保管は避けて下さい。
- 極度に低温や高温(0℃以下または45℃以上)になる場所での保管は避けて下さい。
- 落雷などの天候の場合使用しないで下さい。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 乳幼児などお子様の手の届かない場所に保管して下さい。
- 不安定な場所では使用しないでください。
- 高温、異常な臭い、異常な音、ねじれやゆがみ、変色など異常な状態が起こった場合、すぐに使用を中止して下さい。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 防水性能は、環境や使用方法により、その性能が大きく左右される為、100%保証するものではありません。よって、浸水、水没に伴った保証は出来かねますので、予めご了承下さい。

保証書・保証規定

1. 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理、交換致します。
2. 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1) 保証書をご提示いただけない場合。
 - (2) 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3) 故障の原因が、取扱い上の不注意、輸送、落下、水没あるいは不当な改造、修理などによる故障及び損傷の場合。
 - (4) 天変地異、並びに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (5) 譲渡や中古販売、オークション、転売等でご購入された場合
3. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
4. 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用はお客様のご負担となります。
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。再発行致しませんので、大切に保管して下さい。
6. 店舗でのご購入の場合は、ご購入時のレシートを、通信販売でのご購入の場合は、ご注文番号をご用意下さい。

保証書

製品型番	is-tm01			
お買い上げ日:	年	月	日	保証期間: お買い上げ日から 12 ヶ月
お客様	お名前:			
	ご住所: (〒 -) お電話番号 (- -)			
販売店	販売店名			